

宮城県農業高等学校〔全日制課程（農業科）〕のスクール・ポリシー

★宮城県農業高等学校が地域社会で目指すもの

本校は「自啓：自らの力で自らの道をひらく」を校訓とし、3年間の教育をとおして、自然を愛し、心身ともに健康でたくましい生徒を育てます。宮城県の農業高校の中心校として、農業のキャリア教育を推進します。都市近郊の農業高校として地域社会の発展に貢献する学校を目指します。

1 グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

- 志を明確にして達成する学力を身に付けます。
- 農業の体系的・系統的な理解及び関連する技術を育成します。
- 農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む人材を育成します。
- 職業人としての規範意識や倫理観が身に付いた人材を育成します。

＜豊かな心＞命を大切にする、協調の心、健全な人間関係、地域への貢献
＜確かな学力＞基礎基本の定着、健康の保持増進、コミュニケーション能力の向上
＜専門教育の充実＞自律的な能力と態度、官民と連携した学習

2 カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

- 普通教科と農業教科などの学習を通して豊かな人格の形成と生きる力の育成を図り、将来、地域社会を担う有為な社会人の育成を目指します。
- 教科等横断的な学びや地域社会と協働した学びにより、探究的な学びを進めます。
→探究的な学びから地域の資源を発見・活用する策を模索します。
- ICTを活用したスマート農業や農場 HACCP の取り組みによる学びを実現します。
→GPS を活用した自動運転技術等による作物生産や、安心・安全な畜産物生産に関する学習を実施すると共に、農業生産者としての責任感を身に付けます。

3 アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

- 志望動機が明確であり、意欲的に農業学習・学校生活に取り組む生徒。
- 基本的な生活習慣が身に付いており、豊かな人間性を磨くために努力し、互いにコミュニケーション能力を高められる生徒。
- 本校の目標である校訓「自啓」を理解し、進路実現に向かって継続的に努力できる生徒。
- 中学校3年間続けてきたスポーツ的活動、文化的活動を高校入学後も継続して活動する意欲のある生徒。
- 農作物の栽培または家畜の飼育及び農業経営に関する学習に強い興味・関心があり、将来の農業の担い手・地域の担い手や農業関係等への進学・就職を目指している生徒。